

わたしからあなたへ

No.17

平成23年9月 発行

ふきのとう

新しい風



社会福祉法人 相双記念会
障害者支援施設
ふきのとう苑
福島県相馬市富沢字松道 19
TEL 0244-35-3090
FAX 0244-35-1171
MAIL: info@fukinotouen.jp
編集責任者 広報委員会

「この施設を利用してよかった」と感じていたただける施設に

施設長 佐藤 正広

三月十一日に発生した東日本大震災・津波、およびその後の福島第一原子力発電所事故などに対しまして、多くの方々よりふきのとう苑への励ましや支援をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。

震災後、施設設備の被災や福島第一原子力発電所事故による放射線への不安、職員確保の問題などから利用者様に外泊や県内県外の障害者支援施設に避難していただきました。

その際にもご家族様や避難させていただきました県内県外の障害者支援施設の関係者様には多大なるご尽力、ご協力をいただき、深くお礼申しあげます。

六月初めには、外泊や避難をしておりました多くの利用者様にふきのとう苑にお戻りいただきました。

ふきのとう苑にとっては東日本大震災の避難から約二か月後に、新たなスタートを切ったことになりました。

この新たなスタートに際しまして、私には利用者様の皆様に「この施設を利用してよかった」と思っていただけの施設づくりに目指したいと考えていました。

そのためには、良質なサービスが利用者様に提供できるよう努力する必要がありますと感じています。

今回、県内県外の施設に避難していただきました利用者様も事情のある少数の利用者様を除き、多くの利用様が避難していた施設から、ふきのとう苑に戻ってきていただきました。

避難先の施設のサービス提供について話される利用者様もおりまして、ふきのとう苑のサービスとの違いなども感じているようにあります。

では、利用者様に「この施設を利用してよかった」と感じていただけるとは、どのようなサービスを提供すればよいのでしょうか。

それには、利用者様主体のサービスの提供を行うことが必要ではないでしょうか。

以前は障害をもつ人や高齢者など福祉サービスの利用者様を「サービスの受給者」と受け身的に捉えてきました。

しかし、現在は「サービスの主体者」と捉える見方となっております。

それまでは利用者様に関する決定を援助者が行っていた「援助者主体」の考えから、可能なかぎり利用者自身が自分で選択し、自己決定をすることを尊重するという「利用者様主体」の考えとなり

「サービスの主体者」は、援助者ではなく利用者様自身である」という発想に転換されております。

福祉サービスを提供していく中で最大の目的は、利用者様の自己決定の原則を確立すること、すなわち「利用者様主体の福祉」を実現することだと言われております。

しかし、さらに本当の目的はもう一つあり、それは利用者様主体の対極にある「施設病」の根絶だと言われております。

施設病とは、施設の利用者様が入所してから、その環境に慣れるまでのプロセスの中で、自らの個性を失い、他の利用者様と同じような行動パターンをとるようになっていくことを指しています。

このような施設病をもたらず環境は施設の隔離性、吸引力、効率性、目的性そして自己完結性の特徴にあると言われております。

特に効率性については、施設は同じような障害をもっている人を集めているので医者や床屋が「出前」する方が効率的です。また、ケアでも入浴や食事などの基本的な生活業務を同一時間に同じ手順で行うベルトコンベヤー方式的な作業になりやすく、管理システムになりやすいと言われております。

また、施設には福祉サービスの閉鎖性から生み出される問題があり、職員の施設病と密接な関係があると考えられています。

施設で働く職員が、無意識のうちに陥りやすい罠として、次の三点が言われています。

「利用者に対して特権意識を抱きやすい」、「独善的となりやすい」、「利用者の立場が弱いことを忘れてしまう」ということです。

これらの特殊性からもわかるとおり、施設は外部との接触が少なく、新しい風が入りにくい構造となっております。そのため職員の意のままになる「小さな世界」が形成されやすいのです。

ふきのとう苑の運営理念は、「いつも元気な風が吹いている施設の具現化を図るため、私達は絶えず尊重、追求、共生の精神をもって利用者様に接します」であり、新しい風が吹く施設の運営を理念としています。

しかし、施設病はどこでも起こり、見えにくいところに潜むと言われております。

施設において、利用者様主体の援助を行うにあたっては、職員が施設病について具体的な症状を知ることです。職員は「ちよつと待ってね」三大症状と言われている「ちよつと待ってね」症候群、きびしさも愛情のうち症候群、不完全燃焼症候群について考えます。

「ちよつと待ってね」症候群ですが、「ちよつと待ってね」は「うるさいな」、「何度も同じことを聞かないで」というような否定的な言葉ではないので、多用してもつい平気になってしまいがちです。無意識のうちに「ちよつと待ってね」を乱発し、利用者から離れて行く記録書きや洗濯掃除などの仕事を優先する職員になるのが典型的な症状です。克服するにはもう一度、援助職員が利用者様の立場にたつて「ちよつと待ってね」が「もう戻らない」という意味になってないか反省することです。

次に、きびしさも愛情のうち症候群ですが、援助職員の不適切な態度や言葉によって利用者様を傷つけても、「愛情からだ」、「本人のためだ」と主張して、自分の行為を正当化するのが典型的な症状です。

不適切な行動や言動が、悪意からではなくても利用者様を傷つける行為は、悪意からではないとの理由で見逃さされてはならないことです。

不完全燃焼症候群は、「やりたいことができないうい」、「言いたいことが言えない」、「人の言うなりになるしかない」、「もつとできるのに」という思いが高じて、ヤル気・気力・パワーをなくしていく症状です。

不完全燃焼症候群の場合は、全く希望がないわけではありません。初期段階では、「変えたい」という希望があるため、施設病の中では一番回復する可能性が高いと言われております。

施設病は、どこかの援助現場でも起きると言われており、早期発見・早期治療が必要であり、自覚症状がないとどんどん深刻化する難病でもあります。

しかし、施設病は不治の病ではありません。早期発見・早期治療に向けた自己チェックを行えば、必ず治療への道が拓けてくると考えられています。

以上のことから、職員が「利用者様主体」の考えをもち、「施設病」の根絶を行って、利用者様の援助に当たることが利用者様に「この施設を利用してよかった」と感じていただけるとなることを考えられます。

ふきのとう苑の新たなスタートにあたり、利用者様に「この施設を利用してよかった」と感じていただけると施設づくりについて、考えてみました。

今後、職員一同が協力し、利用者様主体のサービス提供と施設病の根絶を図り、利用者様に「ふきのとう苑を利用してよかった」と感じていただけると施設にしていきたいと思っております。



平成22年度 決算報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

第3号様式

事業活動収支計算書

社会福祉事業会計

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

勘定科目		本年度決算	前年度決算	増減	
事業活動収支の部	取入	自立支援費等収入	285,890,996	284,556,946	1,334,050
		利用料収入	28,222,329	36,247,084	-8,024,755
		経常経費補助金収入	7,082,577	2,350,297	4,732,280
		寄附金収入	115,000	365,000	-250,000
		雑収入	167,945	783,569	-615,624
		国庫補助金等特別積立金取崩額	17,886,018	19,873,068	-1,987,050
		事業活動収入計 (1)	339,364,865	344,175,964	-4,811,099
	支出	人件費支出	155,496,127	155,170,005	326,122
		事務費支出	18,689,507	17,586,602	1,102,905
		事業費支出	87,731,184	93,734,810	-6,003,626
減価償却費		35,595,224	43,405,287	-7,810,063	
事業活動支出計 (2)	297,512,042	309,896,704	-12,384,662		
事業活動収支差額 (3)=(1)-(2)		41,852,823	34,279,260	7,573,563	
事業活動外収支の部	取入	借入金利息補助金収入	2,956,000	3,160,000	-204,000
		受取利息配当金収入	8,974	14,052	-5,078
		経理区分間繰入金収入	238,983,089	817,603,490	-578,620,401
		事業活動外収入計 (4)	241,948,063	820,777,542	-578,829,479
	支出	借入金利息支出	3,770,107	4,649,009	-878,902
		経理区分間繰入金支出	238,983,089	817,603,490	-578,620,401
事業活動外支出計 (5)	242,753,196	822,252,499	-579,499,303		
事業活動外収支差額 (6)=(4)-(5)		-805,133	-1,474,957	669,824	
経常収支差額 (7)=(3)+(6)		41,047,690	32,804,303	8,243,387	
特別収支の部	取入	特別収入計 (8)	0	0	0
		特別支出計 (9)	0	0	0
	特別収支差額 (10)=(8)-(9)		0	0	0
当期活動収支差額 (11)=(7)+(10)		41,047,690	32,804,303	8,243,387	
収支差額の活動	前期繰越活動収支差額 (12)		-90,204,516	-123,008,819	32,804,303
	当期末繰越活動収支差額 (13)=(11)+(12)		-49,156,826	-90,204,516	41,047,690
	基本金取崩額 (14)		0	0	0
	基本金組入額 (15)		0	0	0
	その他の積立金取崩額 (16)		0	0	0
	その他の積立金積立額 (17)		0	0	0
次期繰越活動収支差額 (18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)		-49,156,826	-90,204,516	41,047,690	



第1号様式

資金収支計算書

社会福祉事業会計

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

勘定科目		予算	決算	差異	備考		
経常活動による収支	収入	自立支援費等収入	287,336,000	285,890,996	1,445,004		
		利用料収入	31,280,000	28,222,329	3,057,671		
		経常経費補助金収入	7,200,000	7,082,577	117,423		
		寄附金収入	0	115,000	-115,000		
		雑収入	450,000	167,945	282,055		
		借入金利息補助金収入	2,980,000	2,956,000	24,000		
	支出	受取利息配当金収入	13,000	8,974	4,026		
		経理区分間繰入金収入	815,000,000	238,983,089	576,016,911		
		経常収入計 (1)	1,144,259,000	563,426,910	580,832,090		
		人件費支出	170,794,340	155,496,127	15,298,213		
		事務費支出	14,211,000	18,689,507	-4,478,507		
		事業費支出	86,700,000	87,731,184	-1,031,184		
施設整備等による収支	支出	借入金利息支出	4,380,000	3,770,107	609,893		
		経理区分間繰入金支出	815,000,000	238,983,089	576,016,911		
	経常支出計 (2)	1,091,085,340	504,670,014	586,415,326			
	経常活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		53,173,660	58,756,896	-5,583,236		
	収入	固定資産売却収入	0	7,505	-7,505		
		施設整備等収入計 (4)	0	7,505	-7,505		
		支出	固定資産取得支出	0	3,211,475	-3,211,475	
			施設整備等支出計 (5)	0	3,211,475	-3,211,475	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		0	-3,203,970	3,203,970		
	財務活動による収支	収入	財務収入計 (7)	0	0	0	
			支出	借入金元金償還金支出	26,426,000	26,426,000	0
		積立預金積立支出		0	84,000	-84,000	
財務支出計 (8)		26,426,000		26,510,000	-84,000		
財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		-26,426,000	-26,510,000	84,000			
予備費 (10)		1,000,000					
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		25,747,660	29,042,926	-3,295,266			
前期末支払資金残高 (12)		77,240,755	84,602,283	-7,361,528			
当期末支払資金残高 (11)+(12)		102,988,415	113,645,209	-10,656,794			

第5号様式

貸借対照表

社会福祉事業会計

平成23年3月31日 現在

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	144,352,149	99,488,100	44,864,049	流動負債	30,706,940	14,885,817	15,821,123
現金預金	75,687,462	41,654,986	34,032,476	未払金	12,495,003	12,343,480	151,523
未収金	49,275,546	52,157,867	-2,882,321	預り金	2,860,478	2,542,337	318,141
貯蔵品	559,268	1,291,795	-732,527	経理区分勘定 (資金外:借方)	5,541,788	0	5,541,788
立替金	13,177,911	3,972,710	9,205,201	仮受金	9,809,671	0	9,809,671
経理区分勘定 (資金外:借方)	5,541,788		5,541,788				
仮払金	110,174	410,742	-300,568				
固定資産	613,481,053	645,788,307	-32,307,254	固定負債	205,264,000	231,690,000	-26,426,000
基本財産	592,966,148	624,276,437	-31,310,289	設備資金借入金	185,500,000	198,750,000	-13,250,000
建物	376,724,086	376,724,086	0	長期運営資金借入金	19,764,000	32,940,000	-13,176,000
建物附属設備	352,184,644	352,184,644	0	負債の部合計	235,970,940	246,575,817	-10,604,877
減価償却累計額 (△)	209,860,916	178,550,627	31,310,289	純資産の部			
土地	73,918,334	73,918,334	0	基本金	216,848,164	216,848,164	0
その他の固定資産	20,514,905	21,511,870	-996,965	基本金	216,848,164	216,848,164	0
建物附属設備	878,640	563,640	315,000	国庫補助金等特別積立金	354,170,924	372,056,942	-17,886,018
構築物	23,194,767	23,194,767	0	次期繰越活動収支差額	-49,156,826	-90,204,516	41,047,690
車両運搬具	7,795,456	7,795,456	0	次期繰越活動収支差額	-49,156,826	-90,204,516	41,047,690
器具及び備品	69,804,804	66,915,834	2,888,970	(うち当期活動収支差額)	41,047,690	32,804,303	8,243,387
減価償却累計額 (△)	81,481,122	77,196,187	4,284,935	純資産の部合計	521,862,262	498,700,590	23,161,672
権利	228,690	228,690	0				
敷金	84,000	0	84,000				
リサイクル預託金	9,670	9,670	0				
資産の部合計	757,833,202	745,276,407	12,556,795	負債及び純資産の部合計	757,833,202	745,276,407	12,556,795

Ⅰ 脚注
 1. 徴収不能引当金 0円
 2. 減価償却累計額は社会福祉法人会計基準第37条第1項の但し書きの適用により省略する。
 3. 退職給与引当金の計上基準
 職員の退職給与の支給に備えるため、当該会計年度末に在籍する全職員が退職するものとみなした場合の退職給与支給額のうち、当該社会福祉法人が負担することとなる額を見積もって退職給与引当金に計上する。
 4. 重要な会計方針の変更 該当なし
 基本財産の増加 該当なし
 基本金及び国庫補助金等積立金の取り崩し
 基本金の取り崩し額 0円
 国庫補助金等積立金取り崩し額 17,886,018円
 5. 担保に供されている資産の種類及び金額
 土地 73,918,334円
 6. 重要な後発事象
 平成23年3月11日の東日本大震災とそれに続く福島第一原発の事故により生活介護事業の入所者について3月下旬より県内、県外の他施設に委託した。

新職員 紹介



介護部
田村美咲

入所者の皆様に早く顔と名前を覚えて頂きたいです。

皆様の日々の生活が安全に送れる様に努めさせて頂きたいと思えます。



介護部
佐藤大貴

四月から入社いたしました。佐藤大貴と申します。

まだ至らないことはかりですが、日々向上心を持って頑張っております。

これからもよろしくお願ひします。



介護部
菅野江見

至らないことがたくさんあると思ひますが、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



介護部
寶玉和史

今年五月に入りました寶玉和史です。

まだまだ不慣れな部分もありますが、一生懸命頑張りますのでこれからよろしくお願ひします。



介護部
愛澤秀和

四月より入職いたしました。愛澤です。

ふきのとう苑で初めての常勤理学療法士ということでプレッシャーもありますが、利用者様と楽しく体を動かしていけたらと考えております。

今後ともよろしくお願ひ致します。



医務部
香星

五月に入職して二ヶ月が過ぎようとしています。施設勤務は初めてで不安や戸惑いばかりで、病院勤務の時とはギャップがありすぎてしたが、看護観だけは変わらぬ科学的根拠を持つて看護し「命」を守ることは同じと感じています。

これから今の私に足りない福祉を学習し利用者様が安心して生活できるように勤めていきます。



医務部
伏見友里恵

社を学習し利用者様が安心して生活できるように勤めていきます。

五月九日に入職しました看護部の伏見友里恵です。

毎日があつという間に終わってしまい、自分なりに充実した生活をしているとは思いますが、もっともっと時間がほしいです。家事、子供、仕事との両立で大変ですが、家族の協力がんばっています。

趣味は実を言いますと公園ウォーカーが大好きで特に昭和三十年代の公園マニアです。ながめているだけで「キーン」となっています。

このような私ですが、どうぞ、宜しくお願い致します。



医務部
志賀沙織

入職してから、三ヶ月が過ぎました。

今まで、病院勤務で、福祉の現場で働くのは初めてで、戸惑う事も多々ありますが、私なりの看護で、利用者様の為に役に立てる様、関わっていきたくて考えています。

医務室です



今回は、日常生活でできるインフルエンザ予防方法をご紹介します。

日常生活ではまず、体調を整えて抵抗力をつけ、ウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、室内を加湿器などを使って適度な湿度に保つことは有効な予防方法です。

一、栄養と休養を十分取る
体力をつけ、抵抗力を高めることで感染しにくくなります。

二、人混みを避ける
病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。

三、適度な温度、湿度を保つ
ウイルスは低温、低湿を好み、乾燥しているとウイルスが長時間空気中を漂っています。加湿器などで室内の適度な湿度を保ちましょう。

四、外出時の手洗いとうがい
の励行
手洗いは接触による感染を、うがいはのどの乾燥を防ぎます。

五、マスクを着用する
ハイリスク群などどうしてもし予防が必要な方はマスクを着用しましょう。罹患した人では、咳やくしゃみの飛沫から他人に感染するのを防ぐ効果もあります。

こんにちは、 給食室です。



のメニューをご紹介します。五目おこわ、鮭、卵焼き、ほうれん草入りえび焼売、切

六月二十六日に、花植えの行事が行われました。

雨の為、花植えは中止となっていました。

が、行事食として厨房からお弁当を提供いたしました。その時のメニューをご紹介します。

り干し大根の煮物、マカロニサラダ、黄桃&キウイ、麩と三つ葉のお吸い物です。いつもと違い、通所ホールに集まって賑やかな食事会となりました。



合唱

発表



家族会 & 食事会
H23.6.23

練習した成果を家族の方に聴いていただきました。その後はみんなで食事を楽しみました。



みんなで苑内の花壇をお花でいっぱいにしました。

花植え
H23.6.29



夏祭り H23.8.27



ハーモニカ愛好会の皆さんにフラダンスも踊っていただきました。



向陽中よさこいの皆さんです。



ゲームコーナー 景品いっぱい



相馬農業・相馬東高校から3名の方がボランティアに来てくれました。ありがとうございました。



最後は花火大会！



お誕生日おめでとうございます

3月生れ



4月生れ



5月生れ



6月生れ



7月生れ



8月生れ



あとがき

東日本大震災によりお亡くなりなられた方々に深くお悔やみ申し上げますとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。広報誌も震災により発行するまでにいたらない月もありましたが、この度発行すること事が出来て嬉しく思います。これも皆様のご協力のおかげと感謝いたします。皆様楽しんで頂けるように努力して参りますので、これからもよろしくお願いたします。

(高)

ボランティア募集

ふきのとう苑ではボランティア活動をしてくださる方を募集中です。

★活動内容(例)

- ・ホール・浴室等の清掃
- ・読み聞かせ・お話し相手
- ・シーツ交換
- ・洗濯物たたみ
- ・イベントスタッフ
- ・音楽演奏

お申し込み・お問い合わせはボランティア担当までお気軽にご連絡ください。

ありがとうございました

- ★福島県理容生活衛生同業組合 相馬支部様
- ★大橋屋様
- ★読み聞かせ 市澤様
- ★利用者様ご家族(果物・野菜等)